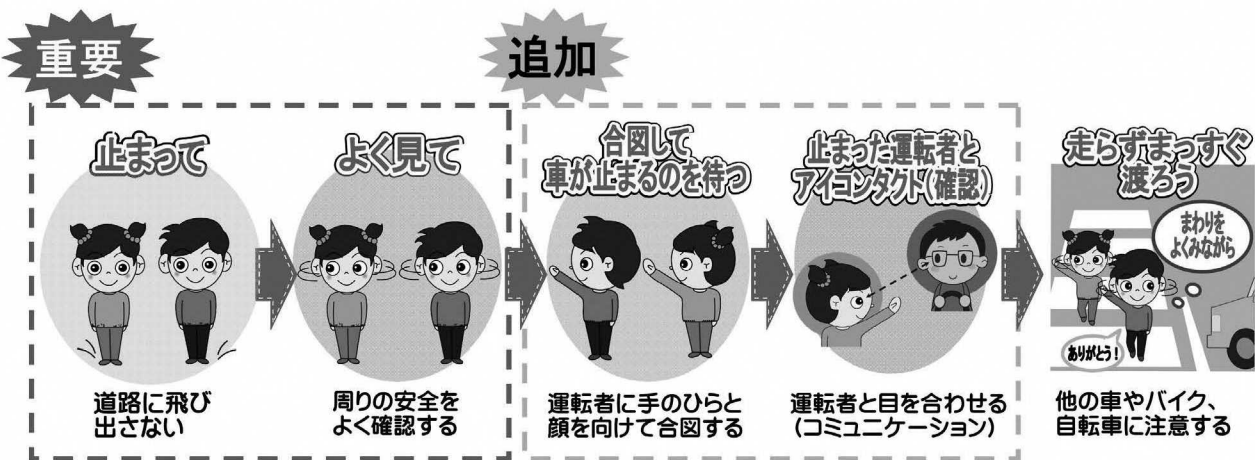


新たな横断の方法（合図横断）



「合図横断」で事故のないまちへ
 与謝野町交通安全対策委員会では、交通事故のないまちを目指すため、幼児の交通安全教育を重点的に取り組んでいます。各地区の

防止につながるのではないかと仮定。歩行者が手を上げた場合の実態を調査したところ、何もしない場合の3〜5倍の車が一時停止することが分かりました。「横断歩道は安全」という認識が事故の危険性を高める可能性もあることから、横断する際は手を上げて合図を送り、運転手との意思疎通を行ってからの横断する(合図横断)上図参照)の指導を推進しています。

順位	都道府県名	割合
1	長野県	85.2%
2	静岡県	63.8%
3	山梨県	51.9%
44	京都府	16.8%
46	青森県	14.0%
46	東京都	12.1%
47	岡山県	10.3%



合図横断を教わる園児(のだがわこども園)

交通安全対策委員が町内のこども園や保育所に訪問し、保護者会等と連携して「親子交通安全教室」を計画的に開催。京都府警察が推進している「合図横断」を行なうことで、急な飛び出しや安全確認不足による交通事故が防げると教えています。自動車を運転する方は、横断歩道で合図をする子どもを見かけたら一時停止し、温かい心で見守っていただきますようお願いいたします。
 ※各地区で活動する交通安全対策委員は、以下の「紹介」をご覧ください。

交通安全対策委員の紹介 - 29人の委員で活動しています -

- ※ ○は支部長、敬称略
- 【会長】 安田 善一 (三河内)
 - 【副会長】 糸井 邦彦 (浜町)
 - 【加悦支部】 中谷 義徳 (加悦)、明石 延子 (加悦)、松井 栄治 (算所)、小西 敏典 (滝)、森垣美与子 (金屋)、大谷 直行 (香河)、西村八重子 (明石)、藤原 虎雄 (江)
 - 【岩滝支部】 細見 泰道 (東町)、小山 富美代 (石木)、後藤 智子 (山)
 - 【野田川支部】 伊達 英徳 (下山田)、上田 繁範 (三河内)、増田 三河内 (三河内)、山本 三河内 (三河内)、安田 敏博 (岩屋)、山添 哲也 (岩屋)、渡辺 一廣 (岩屋)、辻村 孝子 (岩屋)、福村 美里 (幾地)、坂根 和彦 (幾地)、白岩 文代 (四辻)、茂樹 樹 (四辻)、宮崎 進 (下山田)、宮崎 進 (下山田)、山崎 明子 (下山田)、古田 真実 (石川)、山崎 明子 (石川)、山崎 明子 (石川)

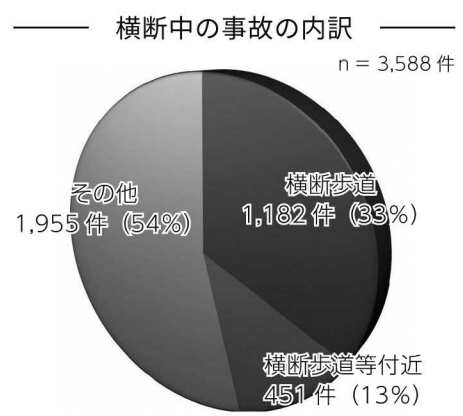


51人。この数字は、令和3年に京都府内において交通事故で亡くなった人数です。中でも「歩行中等」の割り合いが18人と最も多くなっています。自動車等を運転する方の交通ルール遵守はもてるること、歩行者も少し気をつけることで事故を防ぐことができるかもしれません。今月号は、「横断歩道の渡り方」についてお知らせします。

あいずおうだんで
 あんぜんにわたろう
 おうだんぼどう

交通死亡事故の約3割が横断歩道・横断歩道付近での事故

横断歩道は歩行者優先であり、運転手は横断歩道手前での減速や停止義務があります。警察庁の統計によると、平成29年から令和3年までの5年間で、自動車と歩行者が衝突した交通死亡事故は5052件。その内、約7割の3588件は、歩行者が横断中に起きた事故です。横断歩道付近等は事故が起きやすいため、今一度、運転者も歩行者もルールを確認しましょう。



京都府の一時停止全国ワースト4
 止まろう、横断歩道

一般財団法人日本自動車連盟の調査によると、2021年の信号機のない横断歩道で一時停止した車は、全国平均で30・6%ですが、京都府は16・8%で全国でも低い割り合いになっています(左上表参照)。
 この調査結果から京都府警察は「道路を渡る側の意思表示が事故